

## 平成27年第3回

### 福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議

#### 東京電力福島第一原子力発電所現地視察

#### 開催報告書

日時：平成27年5月30日（土） 11：15～16：00

場所：Jヴィレッジ、福島第一原子力発電所

#### 1 挨拶等（Jヴィレッジ アルパインローズ）

##### （1）挨拶概要

###### ○玉根危機管理部政策監

皆様、本日はお忙しい中参加いただき感謝申し上げます。すでにご存じとは思いますが、昨日、ノッチタンクから3号機タービン建屋への移送配管より漏えいがあった。本日は、その事象についても東京電力から説明をしていただきたい。よろしく願います。

###### ○渡邊明議長

福島第一原発の現場は多様化、多重化している。次々と起こる汚染水問題に対して、この程度ならよいかという心の緩みが表れ、それが汚染水問題が続発する要因になっているのではないかと懸念している。

県民会議としていかにして安全確認を行っていくべきか、通常の会議では写真のみの確認であったので、本日は実際の現場で状況の確認をすることとした。よろしく願います。

###### ○東京電力 石崎代表

昨日、汚染水漏えいを起こしてしまい申し訳ない。

2年前に復興本社を立ち上げ、Jヴィレッジで働いている。復興本社では、廃炉以外の部分の賠償や除染作業、一時帰宅者の草刈りなど様々な活動を行っている。復興本社と廃炉カンパニーは、福島復興に向け、車の両輪としてこれからも全力を尽くして参りたい。

###### ○東京電力 増田 CDO

昨日、汚染水がK排水路に流れてしまった。タンク堰内に溜まった雨水を溜めるノッチタンクから3号機タービン建屋に移送するための配管から漏えいした。移送は27日から開始したが、27日に5時間、28日に4時間作業を行い、その中で漏えいしてしまった。全体の漏えい量を現在カウントしている。

雨水処理設備を仮設から本設に切り替えている途中で漏えいが起こってし

まった。昨日、県からの申し入れもあり、しっかり対応していきたい。

## (2) 申し入れ (申受者：東京電力 増田 CDO)

### ○玉根危機管理部政策監

仮設の配管は本設化し、漏えいしたものが側溝に流れないように対策を行い、さらにモニタリング、パトロールの強化すること。

改めて、原因究明を徹底し、再発防止対策、モニタリング強化等を行い、県民の方へ分かりやすく情報提供すること。

⇒ (増田 CDO) しっかりと対応したい。

## 2 現地視察 (福島第一原子力発電所 構内)

東京電力が準備したバスにより、別添のルートを視察。

ポイント毎に東京電力担当者が車内マイクにより説明。随時の質問に東京電力担当者が回答。

## 3 質疑応答など (福島第一原子力発電所入退域管理施設内)

### (1) 挨拶概要

#### ○東京電力 小野所長

昨日は、汚染水を漏らすトラブルを発生させてしまい大変申し訳ない。ポリエチレン管に取り替えが終了していないホースから漏らしてしまった。

福島第一に大型休憩所が完成し、明日5月31日にオープンする予定だ。

1号機カバー解体は、バルーンのズレのため作業を延期しているが、明日、明後日で原因調査を行い、今後の見通しを立てることとしている。

平日の作業員数は、現在約7,000人。一番多い時期で9,000人程度(3月末)、土曜日は約4,000人、日曜日は約2,000人程度。

フェーシング工事を年末に向け完了させる予定だが、その一方で、フェーシングの影響で体感温度が上がることから、熱中症対策をしっかりと行う必要があると考えている。

### (2) 構成員からの質疑応答 (対応者：東京電力 増田 CDO、小野所長)

#### ○大熊町

作業員がまばらに感じたが、本日働いている作業員数は何人か。

⇒ (増田 CDO) 本日は、平日の作業員7,000人の半分程度だ。時間帯で作業を変えるなどしており、同時刻に全員が働くわけではないため、少なく見えたのかもしれない。

#### ○大熊町

熱中症対策はしているのか。

⇒ (増田 CDO) 昨年度は15名の熱中症患者が出てしまった。対策としては、

①7月、8月は14時～16時の時間帯の作業中止、②水を飲める給水車の配置、③涼しい時間帯の作業工程とする、④全面マスクを外すエリアの拡大等を考えている。

#### ○渡邊明議長

構内は昨年度に比べ改善されていると感じた。一方で、様々な作業が同時に行われており、関連企業が多く入っている。作業全体の工程管理や、関連企業の作業員の工程管理のあり方など、発注元の東京電力はどのように関わっているのか。

⇒（小野所長）作業全体の工程管理は、週1回元請けを集めた全体会議を行っている。その下の管理は、元請けが中心となり、その下に現場作業を実際に行う会社が数社入り、細かい点の確認を行っており、そこに東京電力も加わっている。

#### ○渡邊明議長

作業が複雑化しているので、管理をきちんと行いトラブルを繰り返さないように注意していただきたい。

#### ○福島県漁業協同組合連合会

今回汚染水が漏えいした箇所を見た。現場には黒い配管がいくつもあったが、不要な配管もあるのか。

⇒（小野所長）そのとおりだ。不要な配管もあるが、状況はある程度把握できつつある。

#### ○福島県漁業協同組合連合会

それを撤去する作業も今後出てくるということか。

⇒（小野所長）そのとおりだ。タービン建屋内にもいろいろあるが、そこらは被ばくの問題もあり、それを含めて対策を検討しているところである。

#### ○玉根危機管理部政策監

1月の死亡事故を踏まえた対策や今後の熱中症対策など、作業員の安全対策が重要となる。万が一の場合に備え、ERなどの対策はどうしているのか。

⇒（小野所長）昨年度、熱中症によりERで受診した者には、幸いなことに重症者は出なかった。レベル2が2名あったのみ。

一番におそれているのは、具合が悪くてもERを受診しないことだ。マスクミに取り上げられることを恐れ、企業（作業員）で受診を我慢することがある。少しでも兆候が見られたら受診するよう指示をしている。

ERは十分機能している。医師が常時張りついており、その判断も適切と言える。ERで対応できない案件は、他の病院を選定し、救急車やドクターヘリの搬送を求めるなど、適切に対処している。他病院への搬送の時

間短縮が課題だ。

### ○福島県女性団体連絡協議会

構内の地下水の流れは把握しているのか。また、それを見せてもらうことは可能か。

⇒（小野所長）地下水の流れの図がある。公開している図はあるが、見方が難しいかもしれない。

### ○川内村

東京電力の配付資料の中に、1～4号機の状況があるが、絵を見ると、溜まっている水量に違いがあるのはどうしてか。

⇒（増田 CDO）まず、各号機において、燃料がどこに溶解落ちたか、どのようになっているかが分かっていない。各号機で水のたまり方が違うのは、損傷箇所（穴あき）がそれぞれ違うためだ。毎時4トン注水し、温度が安定しているため、冷却できているであろうとの判断だ。今後、デブリの位置等の詳細が分かってくれば、それに対応した冷却方法を検討することとなる。

### ○川内村

冷却に使用した水は汚染水として増え続けるのか。

⇒（増田 CDO）各号機1日100トンの水で冷却しているが、浄化しながら循環させており、汚染水が増えることはない。

### ○川内村

5・6号機は鉄塔が倒れて外部電源が喪失したと聞いた。1～4号機はどうだったのか。

⇒（増田 CDO）1～4号機は夜ノ森から供給されていたが、供給元も受け手側もどちらも壊れてしまい、電源が喪失した。

### ○川内村

その検証は行われ、対策は取られているのか。

⇒（増田 CDO）これまでは、外部電源が壊れても、ディーゼルがあればよいとの考えだった。1F事故を踏まえ、現在は、外部電源は2箇所以上、その他、ディーゼル発電、電源車のバックアップ等の対策を行っている。

### ○川内村

タンク落下の死亡事故について、明かりをとるためタンクに登ったとのことだが、天窓や懐中電灯では不十分だったのか。

⇒（増田 CDO）タンク内の照明で検査を受ける予定だったが、それでも暗いと判断し自ら登ってしまった。問題は、指示する立場の者が自ら行ったことだ。段取りが重要だったと考えており、その後、全ての作業をストップし安全総点検を行った。その際、自分たちの業務についてグループディスカッションを行い、各自の役割を確認してもらった。